

特定非営利活動法人 埼玉環境カウンセラー協会

協会だより 第45号



やまねのセカちゃん

〒330-0055

さいたま市浦和区東高砂町 11-1 コムレ9F

さいたま市市民活動サポートセンター

発行日：2019年9月14日

発行人：会長 大熊 幸雄

電話：050-3610-1948

e-mail：sai-eca@soleil.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.saieca.com/

本号のラインアップ

会長挨拶	1
環境研修会の開催結果について	2
会員の活動紹介	3
通常総会の開催結果について	5
情報交差点	7
編集後記	8

会長あいさつ

大熊 幸雄

会員の皆様には、ご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、梅雨が明けたらと思ったら、連日猛暑が続きます。熱中症にならないよう、皆さん、気をつけておられると思います

来年はオリンピックが開催され、熱中症対策がいろいろと考えられているようですが、開催期間中が暑さのピークになるのではないかと懸念されます。

フランスのビアリッツで開かれたG7サミットでは、地球温暖化防止対策が余り議論されなかったようです。世界のリーダーには、この問題に真剣に取り組んで手遅れにならないよう、具体的な対策を講じて欲しいものです。

さて、当協会では、会員の減少、高齢化などの問題を抱えております。

そこで、従来、実施してきた環境保全講習会や環境研修について見直しを行いました。関係団体とのコラボレーションという形で実施することとなりました。

将来に向けて、持続可能な協会を目指し、更に工夫をこらして参りたいと存じます。

◇ 環境研修会の開催結果の概要

星野 弘志

8月1日（木）、昨年に引き続き認定NPO法人環境ネットワーク埼玉との共催による環境研修会を開催しました。今年の視察先は茨城県鹿島地域です。早朝、参加者32名を乗せたバスは大宮を出発し、外環道の渋滞をなんとか抜け、常磐道をひた走り、ほぼ予定時刻に目的地に到着しました。



最初の視察先は、ウインドパワーグループが経営する洋上風力発電です。洋上という言葉から沖合の水面から立ち上がる風車を思い浮かべていました。ところが実際は海岸線の海側ギリギリにテトラポットに囲まれて風車塔が何本も立ち上がっていました。風力の面や地権者が行政となるという面で優位性を確保できるため、日本で初めて港湾地域に設置したとのことですが、一方、漁業者との調整など洋上ならではの課題もあるとのこと。しかし、そこは地元のベンチャーである当該企業の継続的で誠意ある対応でこれを乗り越えているようです。こうした事業を行うには、いかに地域に根差した取組が重要であるかを実感したところです。



続いて向かったのは、(株)カネカ鹿島工場のメガソーラー施設。自社製品のソーラーパネルを用い、広大な遊休地を活用して10MWのメガソーラーを設置したとのこと。この特徴は、パネルの設置角度を5度と低くして地面全体をほぼパネルで覆っていることです。これにより多少発電効率は落ちますが、雑草刈り払いなどのメンテナンスがほとんど必要ないとのこと。

見学者説明用の事務所内で暑さをしのぎながら説明を受けることができました。

最後は、日本製鉄(株)鹿島製鉄所です。工場の入りゲートをバスで抜けると、そこは信号のある大きな道路と各種の建物が立ち並ぶ一つの街のようです。視察者用の建物に入り、製鉄の仕組みや、工場の環境対策について説明を受けた後、ヘルメット、ゴーグル、軍手を付けて工場内見学に出発です。バスの車窓から高炉など施設を眺めた後、製鋼工場の一つに入りました。そこは巨大な羊羹状になった鋼のブロックを一定の大きさに切断する工程です。猛烈な熱気のなか真っ赤な鋼の塊を青いバーナー切断機が切断していく様子を私たちの視覚・聴覚・皮膚感覚が圧倒されます。製鉄所ならではの貴重な経験です。製鉄所は大量のエネルギーやコークスを使うことから、温暖化対策上注目される業種ですが、我が国の製鉄所は海外に比べかなり省エネが進んでいることを実際に学ぶことができました。



こうして3か所の視察を終え、バスは再び同じルートで大宮への帰路につきました。バスが夕刻の大宮に着くと、激しいサンバのリズムが聞こえてきます。街はカーニバルの真っ最中。暑い真夏の研修会は最後まで熱気に包まれた一日となりました。

会員の活動紹介

○ いずみ理科教室「星座を学ぼう」の指導レポート 令和元年7月7日 内藤定芳

1 生涯学習が充実している坂戸市

七夕の日、坂戸市の環境学館いずみで、「星座を学ぼう」の指導を行いました。

当館との関わりは、環境カウンセラー協会金子さんからの紹介によるもので、今年で3年目になります。

環境学館いずみの講座は充実していて、毎月5～20名前後の受講生が募集され、小学生から一般まで、7月だけを見ても7件のタイトルが用意されています。

「廃食用油リサイクル粉石けんづくり」「メダカを育ててみよう」「えひめ AI を作ってみよう!」など、私でも参加してみたい題材が並びます。私も入間地区で教頭、校長勤務をしたことがあります。坂戸市は Windows が国内で普及する前から IT 教育やコンピュータリテラシーの育成に力を入れていたという記憶があります。

2 「星座を学ぼう」の指導について

あいにく停滞前線や、通過する低気圧の影響で雨天になってしまい、当初から予定していた望遠鏡による太陽黒点の観測は中止せざるを得ませんでした。

急遽、月の満ち欠けをカードで並べ替える教材を用意しました。今年1月6日に部分日食があり、その後奇跡的に晴天が1ヶ月ほど続いたので、最近はやりのコンデジカメラで、ほぼ毎日月の撮影が出来ました。これを2日おき程度でランダム印刷し、小学生に並べ替えの実習をしてもらいました。「トラムーン Junior」と名付けました。

坂戸市の小学生はさすがに熱心で意見もよく出ます。月の話の前に、コンピュータシミュレーションソフトで星座の話や4日前の皆既日食の話を行い、後に、用意した色消しレンズの素材を利用して、簡単な屈折望遠鏡の体験活動を行いました。

3 学習の成果について

2時間の指導時間の殆どを使ってしまったため、アンケート記入時間はわずかになってしまいました。それでも「月の並べ替えがおもしろかった」「月のじゅんばんをならべるやつ」が参加児童の半数程から寄せられ、短時間の望遠鏡づくり実習も好印象でした。学年があがるごとに用意する教材の工夫が必要になります。それでも児童生徒の反応はすばらしく、将来が期待できる十分な手応えが得られる事で、次への励みになります。

県内は勿論、このうねりが全国に広がるような支援を続けて行きたいと考えています。



4年生は集中して話が聞けるが題材の工夫は必要



所員の他大学生も実習に入ってスタッフは豊富

○ 中野忠男さんの活動

中野忠男さんから顧問を務めている「羽生市ムジナモ保存会」の「埼玉・群馬両県の地下水汲み上げ規制に関する請願書」について情報提供がありました。

請願要旨

埼玉・群馬の両県は表流水の確保が十分なされぬまま、水道水給水の不足分を地下水に依存し今日に至っている。両県平野部における昭和30年代以降継続した地下水汲み上げにより、地下水位の低下、地盤の沈下、野生動植物の衰退・死滅、湧水の途絶、小河川の汚濁の進行（湧水の途絶が直結）、地表の乾燥化、地下インフラの損壊、ヒートアイランド現象の加速、人の生活環境の悪化を招いている。本来あるべき水の循環を寸断する地下水の揚水は多大な弊害をもたらしている。県土(国土)回復・保全のため、期限を定めて、両県平野部の地下水の揚水の全面停止を請願致します。

請願事項

埼玉県、群馬県の両県は地下水の揚水を期限を定め全面停止する。ただし、個人営業の豆腐業、伝統的酒造業、温泉施設を除く。埼玉・群馬の両県は水道用、農業・工業用、ビル冷却用他全ての地下水の揚水を停止し、これに変わる水源を利根川水系の表流水に移行する。

(1) 移行の最終期限は 2035 年度とする。

(2) 埼玉・群馬の両県は、東京都より利根川水系の水利権を譲り受け、表流水を確保する。地下水の揚水を全面停止し表流水に変換し県水の増強を図る。

(3) 東京都は、水利権譲渡による上水の不足分は、玉川、墨田川、江戸川の何れかの河口に近い都の埋め立て地に、水道水給水用の海水の淡水化プラントを建設し、都の水道水として給水する。

(4) 東京都が建設運用する海水の淡水化プラントの建設・管理費は、埼玉・群馬の両県が水利権相当分を負担する。

理由: 埼玉・群馬の両県平野部の地下水汲み上げは、昭和30年代の簡易水道から各市の自治体による水道水として規模を拡大したため埼玉では県南から地盤沈下が進行し、その後県北へ拡大した。

平野部における継続する地下水汲み上げは、自然な水の循環を断ち切り環境への負荷・負担は多大であり、この循環の切断（環境破壊）は、すでに60年以上継続している。

生態系への影響及び自然環境悪化は限界に達しており、この負の遺産を次世代に引き継ぐのは好ましくない。

平野部の各地に、かつてのように川の流れを回復し、メダカやホタルを回帰させ、次世代に住みよい環境・県土(国土)を取り戻すために決断せねばならない。

埼玉県の地下水の水質は鉄、カルシウム、マグネシウム、シリカ(ケイ素)、蒸発残留物も多く、水質的に悪く（お茶、紅茶の味が悪い）、表流水の方が良質（利根川水系の東京都金町浄水場の高度処理水・オゾン殺菌は最良の水質）である。

○ 前田則義さんの活動

埼玉県職業能力開発協会からの要請で、ISO14001 内部監査員養成セミナーの講師を担当しました。6月12、13日の2日間。会場は北浦和カルタスホール。受講者は4名でしたが、熱心に聴講され無事修了しました。

令和元年度埼玉環境カウンセラー協会 通常総会の開催結果概要

特定非営利活動法人埼玉環境カウンセラー協会の通常総会は、令和元年5月18日（土）14：00～16：30、埼玉館5B会議室で開催されました。

概要は、次のとおりです。

- 1 開 会（司会）星野弘志副会長
- 2 挨拶 大熊幸雄会長
- 3 来賓挨拶
埼玉県環境部環境政策課長 佐藤 卓史 様
あいさつ文は、次ページに掲載
- 4 議 事
以下の第1～5号議案は、全て承認、議決された。
 - (1) 第1号議案 平成30年度事業報告（中村事務局長説明）
 - (2) 第2号議案 平成30年度活動計算書（片倉会計）及び監査報告（宮崎監事）
 - (3) 第3号議案 役員を選任について（中村事務局長説明）
 - (4) 第4号議案 令和元年度事業計画書案（中村事務局長）
 - (5) 第5号議案 令和元年度活動予算書案（片倉会計）
- 5 各委員会活動等からの報告
 - (1) 化学物質検討委員会（中村副会長、星野副会長）
 - (2) 環境教育推進委員会（内藤、榎本）
 - (3) 広報委員会（中村副会長、大熊会長）
 - (4) ECU活動（大熊会長）
 - (5) 事務局から
 - (6) その他
- 6 記念講演
「家にある化学製品の使い方」 星野 弘志 氏
「秩父ジオパークについて」 内藤 定芳 氏

埼玉環境カウンセラー協会 役員名簿（令和元年-2年度）

役職名	氏 名	住 所	摘 要
理 事	大熊 幸雄	さいたま市浦和区	会 長
理 事	中村 章	富士見市	副会長、事務局長
理 事	星野 弘志	さいたま市南区	副会長
理 事	堀中 新一	蓮田市	
理 事	秋元 智子	さいたま市大宮区	
理 事	片倉 寛	久喜市	会 計
理 事	奥田 真司	春日部市	
理 事	金子 玲司	坂戸市	
理 事	角江 紘一	深谷市	
監 事	宮 崎 誠	川越市	
監 事	内藤 定芳	秩父市	

通常総会 御来賓あいさつ 埼玉県環境部環境政策課長 佐藤 卓史 様

- 埼玉県環境部環境政策課の佐藤でございます。
本日は、埼玉環境カウンセラー協会の2019年度通常総会にお招きをいただきまして、誠にありがとうございます。
- 埼玉環境カウンセラー協会におかれましては、長年にわたり、会員の皆様の専門的知識や豊富な経験を活かし、個人や企業の方々の様々な環境保全活動を支援して来られました。
- 環境イベントへの参加による環境保全の普及啓発活動から、研修会の実施による環境教育人材の育成まで、幅広い分野に渡って、本県の環境問題の改善に多大な貢献をいただいております。
- 大熊会長をはじめ貴協会の皆さまに、この場をお借りいたしまして、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。
- さて、日本では昨年7月、西日本から東海地方を中心に記録的な大雨が降り水害や土砂災害が発生する一方、熊谷市で国内最高となる41.1度を記録するなど、極端な気象現象が観測されています。
- また、魚介類がマイクロプラスチックを体内に取り込む事例が発生し、海洋汚染が話題となっていますが、こうした環境問題の元をたどると全て私たち人間の行動に行き着きます。
- 私も4月に着任して以来、私たちの生活の様々な面が環境問題につながっていることを改めて強く認識したところでございます。
- 環境問題を解決し持続可能な社会を実現していくためには、個人、企業、行政などあらゆる主体が、自らの活動が環境に与える影響を意識し、日常生活や事業活動において環境に配慮した行動を実践していくとともに、協働して環境保全対策に取り組むことが極めて重要でございます。
- 県といたしましても、環境問題の解決のため、様々な施策を推進しております。
- また、来年度に向けて新たな取組の検討も始めております。
その中で、企業の環境への取組を促進できないかということも議論しています。県内企業のほとんどは中小企業ですが、大企業のように環境への取組が進んでいません。経営環境が厳しい中で、環境に目を向けることは難しい面があります。
- 一方で世界的にSDGsの取組が進む中で、環境への取組は企業経営にとってもプラスになります。企業のニーズをつかみながら、県としてどのような支援ができるのか検討してまいります。
- 環境カウンセラーの皆様の中には、環境学習のための環境アドバイザー・環境教育アシスタントにも御登録いただいている方もいらっしゃいます。御協力により大変多くの方の環境意識の高揚を図っていただいていること、本当に感謝しております。
- 個人や企業の方々の環境への意識をより一層高めていくために、引き続き御協力をお願いいたします。
- 貴協会には今後とも、環境に関するスペシャリストとして、その熱意と見識を発揮し、一層の御尽力を賜りますよう心から御期待申し上げます。
- 結びに、貴協会の一層の御発展と御参会の皆様の御健勝を祈念申し上げまして、簡単ではございますが、私のごあいさつとさせていただきます。

◇ 情報交差点

- くまがやエコライフフェア 2019に参加しました
期日 2019年5月25日(土)、26日(日)
場所 八木橋デパート

- 環境展望セミナーに協賛しました
期日 2019年8月28日(水) 午後1時30分～
場所 ソニックシティ 市民ホール 403・404
主催 一般社団法人 埼玉県環境検査研究協会
内容 プラスチックの環境汚染問題を考える

- さいたま市環境フォーラムに参加します
2019年10月11日(金) 及び12日(土)
10:00～16:00 さいたま新都心駅 東西自由通路



令和元年度ポスター

- 富士見市ふるさと祭りに参加します
2019年10月26日(土)
富士見市役所周辺
東武東上線鶴瀬駅東口から徒歩 20分



SECAブースでの対応協力をお願いします。 写真はいずれも、過去のものです。

- 八潮市環境審議会委員の推薦 (令和元年10月から令和3年9月まで)
会員の木内武彦さんを推薦しました。
- 行田市産業廃棄物処理施設等設置調整審査会委員の推薦 (任期 2年間)
会員の新井智さんを推薦しました。

- 総会后、会員の星野弘志様から「家にある化学製品の使い方」（写真左）、内藤定芳様から「秩父ジオパーク」（写真右）と題して講演をいただきました。



- 通常総会后に、さいたま市市民協働推進課に事業報告等を、さいたま市法務局に登記申請の手続きをしました。また、公告の必要がある貸借対照表を、当協会のホームページに掲載しました。

- 「秩父の野鳥とバードウォッチングの手引き」が発行されました。秩父地域環境問題連絡協議会の発行、編集は当協会会員の内藤定芳さんです。



◇ ECUの活動情報

- ・ 令和元年度通常総会；令和元年6月21日（金）
エッサン神田ホール
- ・ 第1回環境カウンセラー環境保全活動表彰で環境大臣賞（市民部門）を受賞した「元祖環境漫才」の林家カレー子さんの冠番組が7月1日より、むさしのFMではじまります。
タイトルは「**林家カレー子のクールチョイスでGO!**」で2019年7月1日から2020年2月1日までの7か月間に渡り、毎日放送されます。
- ・ 2019年度の環境カウンセラー登録更新についてのお知らせ
今年度の更新申請につきましては2020年2月中に該当者にメールでお知らせをお送りします。主な変更点は、申請方式のデジタル化、申請書記載内容の簡素化です。
ホームページ <http://www.minnanoecu.com/>

◇ 編集後記

中村章

近年異常気象が続きその対応に苦勞する毎日です。毎年同じ時期に同じ気候は望めない状況です。自分で危険を予知するのが1番ですが、高齢化が進む現在此も大変なことです。

国際間の間でも不具合が生じて、地球の将来が危ぶまれます。そう言う中で環境カウンセラーの皆様方が自分の立場で、地域の環境を向上するように考えて戴き、「協会便り」への投稿や当協会参加の環境活動に是非ご参加ください。